

日本社会事業大学 専門職大学院

2024

講座会場(対面)アクセス



東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」下車徒歩5分

駅前より春日通りに出て、後楽園方面へ。
ファミリーマートを左折して、1つ目の信号を右へ。



文京キャンパス
〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-12

リカレント

講座

福祉現場実践に役立つ全10講座

～実践力とマネジメント力の向上を目指す～

日本社会事業大学大学院 福祉マネジメント研究科

〒204-8555
東京都清瀬市竹丘3-1-30

日本社会事業大学 専門職大学院 または



お問合せ 大学院教務課

TEL : 042-496-3105 MAIL : inkyoumu@jcsu.ac.jp

日本社会事業大学 専門職大学院とは？

日本で最初に開設された福祉専門職大学院です。
実践家の育成に重きを置き、仕事と学びの両立を
積極的に支援する体制を整えています。

リカレント講座とは

このリカレント講座は、日本社会事業大学専門職大学院が今まで培ってきた教育・研究のノウハウを活かし、社会福祉従事者の実践力を高めることを目的とした講座です。新しい手法や時宜にかなった実践事例、基本的なスキルの振り返りなど、現場実践者のニーズに応え、現場実践に役立つような講座を準備いたしました。ぜひ、多くの方々に受講していただき、実践力向上の一助となれば幸いです。

自分に合った学び方が選べます！

こんな方におすすめです。

R1~R4

単発講座

- ・気軽に体験してみたい方
- ・短時間で効率よく学びたい方
- ・対面で学びたい方

R5~R10

連続講座(全4回)

- ・より深く学びたい方
- ・専門職大学院の授業を体験したい方
- ・平日の夜お仕事の後に学びたい方

お申込みは本学
Webサイトから



詳細はP9をご覧ください。

講座No	講座名	講師
R1	災害ボランティアの功罪 ～災害時のボランティアの課題とあり様を考える～	北川 進
R2	ひきこもりの人の支援をメタバースの実践から考える	曾根 直樹
R3	福祉組織におけるソーシャルワーク スーパービジョン	木戸 宜子
※ R4	ナラティブ・コンサルテーション	須江 泰子
R5	在宅療養支援の方法	鶴岡 浩樹
R6	認知症ケアの基礎理論	宮島 渡
R7	スクールソーシャルワーク	土屋 佳子
R8	災害ソーシャルワーク	北川 進
R9	発達障害の理解と支援	曾根 直樹
R10	共生社会の仕組みとデザイン	曾根 直樹 北川 進

※ R4は有資格の対人支援職の方が対象です。

日程	時間	実施形態	受講料 (税込)
10月26日(土)	13:30~16:30	対面/ Zoom	2,000円
10月26日(土)	13:30~16:30	対面/ Zoom	2,000円
11月23日(土)	13:30~16:30	対面/ Zoom	2,000円
11月23日(土)	13:30~16:30	対面のみ	2,000円
8月30日・9月6・13・20日(金)	19:00~22:00	Zoomのみ	10,000円
9月27日・10月4・11・18日(金)	19:00~22:00	Zoomのみ	10,000円
10月24・31日・11月7・14日(木)	19:00~22:00	Zoomのみ	10,000円
10月25日・11月1・8・15日(金)	19:00~22:00	Zoomのみ	10,000円
11月22・29日・12月6・13日(金)	19:00~22:00	Zoomのみ	10,000円
1月10・17・24・31日(金)	19:00~22:00	Zoomのみ	10,000円

各講座の詳細は次のページから

R1

災害ボランティアの功罪

対面/オンライン

～災害時のボランティアの課題とあり様を考える～

講師：北川 進 (本学講師)

日時：10月26日(土)13:30～16:30 定員：30名 受講料：2000円(税込)

災害時には多くの被災者が様々なダメージを受け、苦しい生活を強いられる。しかし、そのような中でもボランティアが被災者の生活復旧、再建のため大きな力を発揮し、今や被災時には欠かすことのできない復旧支援の柱の一つとなった。一方ボランティアによる行き過ぎた支援や自己中心的な活動により、被災者の自立支援の妨げにつながるような課題も報告されている。本講座ではボランティアが持つ力の有効性ととも、これまでの課題を検証し、災害ボランティアのあるべき姿を探る。

13:30～14:20

主旨・基調説明：北川 進

14:30～15:30

話題提供：「災害ボランティアの成果と課題」

園崎 秀治氏 (オフィス園崎代表/元全国社会福祉協議会地域福祉部 副部长)

15:40～16:30

フロアディスカッション：

「災害ボランティア支援のあり方、コーディネーションを問う」

支援のあり方、支援を活かすためのコーディネーションについて、園崎氏を交えて参加者とディスカッションを行います。

※R8「災害ソーシャルワーク」と併せて受講するとより深い学びとなります。

講座の詳細はこちらもチェック！



R3

福祉組織における

対面/オンライン

ソーシャルワークスーパービジョン

講師：木戸 宜子 (本学教授)

日時：11月23日(土)13:30～16:30 定員：30名 受講料：2000円(税込)

福祉組織の事業を進めていく上で、ソーシャルワークのスーパービジョン(SV)が注目され、必要だという認識が高まっている。今日のソーシャルワークにおいては対人援助から地域支援まで幅広い対応が求められており、実践では支援困難な状況や多様なニーズなど様々な課題に迫られる。実践者一人で抱え込まず、組織としての成果をあげるためのSVが必要である。本講座では、福祉組織に備えられているSV体制について確認し、スーパーバイザーとしての姿勢、スーパーバイザーとしての役割などについて考える。

13:30～14:00

「グループスーパービジョンを受けて」話題提供：専門職大学院修了生認定社会福祉士になるためにはスーパービジョンを受けることになっている。グループスーパービジョンを受けて考えたこと、学んだことをお話しいただく。

14:00～15:00

「福祉組織におけるスーパービジョン体制のあり方」進行：木戸宜子
福祉組織の特性をふまえて求められるスーパービジョン体制のあり方、ソーシャルワークスーパービジョンをどう展開していくかについて考える。

15:10～16:30

「ソーシャルワークスーパービジョンの活用」

進行：木戸宜子・木幡伸子
スーパーバイザー、スーパーバイザーなど参加者それぞれの立場からソーシャルワークスーパービジョンの活用について考える。

講師の提示する事例場面を用いてロールプレイによりスーパービジョンを体験する。

講座の詳細はこちらもチェック！



R2

ひきこもりの人の支援を

対面/オンライン

メタバースの実践から考える

講師：曾根 直樹 (本学教授)

日時：10月26日(土)13:30～16:30 定員：30名 受講料：2000円(税込)

厚生労働省「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」では、ひきこもりを「様々な要因の結果として社会的参加(義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など)を回避し、原則的には6カ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態」と定義した。内閣府の2022年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」では、ひきこもりの状態にある人は、全国約146万人と推計され、様々な支援が模索されている。近年、インターネット空間を利用した仮想空間・メタバースを活用したひきこもり支援が試みられるようになった。メタバースの実践事例から、ひきこもりの人の支援を考える。

メタバースを活用したひきこもり支援が、神奈川県、山梨県甲府市、兵庫県神戸市、大阪府八尾市、福井県越前市、香川県、京都府、東京都江戸川区などで取り組まれている。実践しているゲストをお招きして、その内容や経験を伺い、参加者も交えて意見交換を行う。

ゲスト講師：櫻井 佳代子氏

(江戸川区福祉部生活支援管理課ひきこもり施策係)

：岸田 耕二氏

(社会福祉法人すいせい 理事長)

講座の詳細はこちらもチェック！



R4

ナラティブ・コンサルテーション

対面のみ

講師：須江 泰子 (本学講師)

日時：11月23日(土)13:30～16:30 定員：40名 受講料：2000円(税込)

臨床場面には、公式記録に記されない多くの可能性が埋もれています。外的会話と内的会話を丁寧に重ね合わせ、うつし込み、行き来するリフレクティングの手法も活かしながら、「事例をナラティブにする」コンサルテーションを体験しませんか。現在支援に従事されている方が対象です。講座で使用する事例も募集します。演習を効果的に行うため、対面のみで実施します。

参考文献「ナラティブ・コンサルテーション」小森康永・安達映子(金剛出版,2022)

13:30～13:40

主旨説明：須江 泰子

13:40～14:30

講義：「ナラティブ・コンサルテーションの視点」

講師：安達 映子氏(立正大学社会福祉学部教授)

14:40～16:30

演習：「体験！ナラティブ・コンサルテーション」

進行：安達 映子氏・須江 泰子

講座の詳細はこちらもチェック！



R4は有資格の対人支援職の方が対象の対面のみの講座です。

R5

在宅療養支援の方法

オンライン

講師：鶴岡 浩樹（本学教授）

日時：8月30日・9月6・13・20日(金) 19:00～22:00

定員：20名 受講料：10,000円(税込) ※終了時間が前後することがあります。

地域包括ケアシステム、さらには地域共生社会を意識し、複雑化する在宅療養者に対する支援の現状と課題を明らかにし、現場で必要な知識を整理し、スキルを習得する。在宅療養している当事者の居宅環境、介護力、地域の社会資源等を把握し、必要な医療処置とケアを考慮の上、個別の事情に応じた生活支援を行えるようにする。多くのワークを行い、日常の実践場面に生かすことを前提として授業を行う。

◆ 専門職大学院授業と合同となります。

【1日目】

- ・なぜ在宅医療が推進されているのか？
- ・在宅医療の実際

【2日目】

- ・在宅医療とナラティブ
- ・障害児者の在宅医療、介護ロボット等の新技術

【3日目】

- ・リハビリテーション
- ・介護保険と医療保険のしくみ、地域社会資源の活用

【4日目】

- ・在宅看取りの支援
- ・地域力を向上させるには

講義の詳細は
こちらをチェック！



R7

スクールソーシャルワーク

オンライン

講師：土屋 佳子（本学非常勤講師）

日時：10月24・31日・11月7・14日(木) 19:00～22:00

定員：20名 受講料：10,000円(税込) ※終了時間が前後することがあります。

子どもをめぐる福祉的課題が山積している。本講座では、ソーシャルワーク等各種の理論や技術を学びながら、スクールソーシャルワーカーにとって必要不可欠な児童・家庭に対する支援方法を検討し、実践への応用を目指す。また、内容に即したゲスト講師をお招きし、子どもを取り巻く社会の多様性を捉えるとともに、子どもの最善の利益を踏まえたチーム援助のあり方や包括的な視点を養う。

◆ 専門職大学院授業と合同となります。

【1日目】

- ・スクールソーシャルワーク (SSW) の視点/スクールソーシャルワーカーの仕事と役割
- ・SSWの価値・倫理・子ども観

【2日目】

- ・SSWの展開過程
- ・学校文化の特徴と就学前・学校種別の実践技術

【3日目】

- ・SSWの実際/児童虐待・ヤングケアラー事例をもとに
- ・SSWの実際/いじめへの対応

【4日目】

- ・SSWの実際/特別支援教育と合理的配慮
- ・SSWの実際/子どもの貧困へのアクションと居場所づくり

講義の詳細は
こちらをチェック！



R6

認知症ケアの基礎理論

オンライン

講師：宮島 渡（本学特任教授）

日時：9月27日・10月4・11・18日(金) 19:00～22:00

定員：20名 受講料：10,000円(税込) ※終了時間が前後することがあります。

認知症を抱えて生きる人の割合が増加している。一方、認知症は認知機能の低下に伴い、差別、虐待、不適切な認知症ケアによる様々な権利侵害の危険性がある。社会福祉実践者は身近な地域で誤った認知症観を抱く住民や専門職に対して、当事者とともに啓発活動に努めていかねばならない。本講では、認知症ケアのこれまでの歴史や制度変革、取り組みなどを学ぶことで、認知症とともに生きる人と家族、支援者、地域住民が安心して生きることのできる社会づくりの実践を目指す。

◆ 専門職大学院授業と合同となります。

【1日目】

- ・認知症ケアの変遷
- ・認知症ケアの制度変遷

【2日目】

- ・認知症の当事者の声から学ぶ
- ・家族支援

【3日目】

- ・認知症ケアを実践する上での心構え
- ・地域生活支援

【4日目】

- ・パーソン・センタード・ケア（認知症の人を支援する上での理念）
- ・ひもときシートとセンター方式シート

講義の詳細は
こちらをチェック！



R8

災害ソーシャルワーク

オンライン

講師：北川 進（本学講師）

日時：10月25日・11月1・8・15日(金) 19:00～22:00

定員：20名 受講料：10,000円(税込) ※終了時間が前後することがあります。

災害支援の場面を通して教員が提示する事例をもとに、災害時特有の課題、被災者が自立していくために必要な災害ソーシャルワークの視点とは何かを理解する。自らの専門領域における災害支援のあり方、日ごろの取組みを見出し、ソーシャルワーカーに必要な具体的な支援の視座と方法を学ぶ。

◆ 専門職大学院授業と合同となります。

【1日目】

- ・オリエンテーション、災害ソーシャルワーク、被災地の地域福祉の概要
- ・被災者がおかれる現状とボランティアをはじめとする支援

【2日目】

- ・被災当事者の意思決定と支援者側との乖離
- ・ボランティアなど外部支援者の力とそれらを活かす調整力（コーディネート）

【3日目】

- ・被災地の復旧から復興期の地域づくり
- ・発災から復興までの長期的展開と被災地の地域福祉

【4日目】

- ・災害時における要援護者の支援と事前の地域づくり
- ・全体総括と専門領域における日ごろの取組み

講義の詳細は
こちらをチェック！



R9

発達障害の理解と支援

オンライン

講師：曾根 直樹（本学教授）

日時：11月22・29日・12月6・13日(金) 19:00～22:00

定員：20名 受講料：10,000円(税込) ※終了時間が前後することがあります。

発達障害について社会的関心が高まっている。本講座では、発達障害とは？という基本的な理解を得るとともに、様々な場面で支援を展開されている方、当事者の方をゲスト講師としてお招きし、支援の実際と方法を学び、現場実践者を通じて社会的認識を上げ、当事者と支援の将来像を共有することを目指す。さらに、自閉スペクトラム症と知的障害を重複する人が、不適切な支援の二次障害として起きる、「強度行動障害」の背景、障害特性に基づく支援について理解を深める。

◆専門職大学院授業と合同となります。

【1日目】

- ・発達障害とは？その特性
- ・発達障害と医療の役割

【2日目】

- ・発達障害をもつ子どもへの支援
- ・発達障害のある人の家族への支援

【3日目】

- ・発達障害をもつ若者への支援
- ・発達障害の当事者から学ぶ

【4日目】

- ・強度行動障害の理解と支援

講座の詳細はこちらもチェック！



R10

共生社会の仕組みとデザイン

オンライン

講師：曾根 直樹（本学教授）・北川 進（本学講師）

日時：1月10・17・24・31日(金) 19:00～22:00

定員：20名 受講料：10,000円(税込) ※終了時間が前後することがあります。

人口減少、高齢化を背景に、共生社会の実現に向けて、分野別福祉を超えた取り組みが各地域で始まっている。連携の対象は福祉分野を超え、社会教育、雇用、地域コミュニティ再生、文化芸術、住宅都市、農業等一次産業、観光、住民自治のあり方にまで及んでいる。支援を必要とする人々を中核に据えつつ、社会変革を通じて福祉的課題の解決を図る。そのために必要な知識、視点の広さと柔らかな態度を獲得する。各回のゲストスピーカーの実践事例を元に考えることができるようにする。

◆専門職大学院授業と合同となります。

【1日目】

共生社会と地域共生社会とは何か

【2日目】

共生社会の実践事例に学ぶ

【3日目】

地域共生社会の実践事例に学ぶ

【4日目】

実践事例から考える共生社会、地域共生社会を支える考え方とは何か

講座の詳細はこちらもチェック！



注意事項

講座の変更

- ・内容・スケジュール等が若干変更になる場合があります。
- ・社会情勢の変化により、対面を予定している講座をZoomのみのオンライン講座に切り替える場合があります。

講座の中止

以下の理由で講座が中止になった場合は、受講料を返金いたします。

- ・受講生が一定人数に満たないとき講座を中止する場合があります。（中止決定は、講座開始日の7日～10日前に行います。）
- ・講師の緊急の都合などにより、中止、延期、時間短縮、講師の代講となることがあります。

受講料の返金等

以下の場合、受講料の返金および減額はいたしかねます。

- ・自己都合により途中で中断された場合
- ・緊急の都合により、講師が変更になった場合

休講・補講

以下の場合、原則として補講を行います。

- ・講師の都合や気象状況、感染症の流行等により、やむをえず休講とする場合
- ・突発事故等により、開始時間より30分経過しても講義ができず、休講とする場合



休講・補講情報

なお、休補講の情報は、原則本学Webサイトにてお知らせいたしますので、受講の前に各自ご確認くださいませようお願いいたします。

受講キャンセル

講座開始日の8日前までにご連絡をいただければ、お振込みいただいた受講料は手数料を控除し返金いたします。それ以降にキャンセルされる場合は返金できませんのでご了承ください。

その他

- ・オンライン受講者は、各自におけるインターネット環境及びノートパソコン等（マイク・カメラ付）が必要となります。
- ・専門職大学院の授業を一部公開している講座の場合は、本学学生と一緒に講義を受けます。
- ・講座で使用するテキスト代が別途かかる場合があります。
- ・駐車スペースがありませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。
- ・申し込み者以外の方による変更依頼は一切お受けできません。
- ・障がい等のために特別な配慮が必要な方は、申込時に配慮内容をご相談ください。
- ・お申し込みの際の個人情報は、参加者名簿作成、案内書等の送付、緊急時の連絡、本学が開催する同様のイベント案内以外には利用しません。

お申込み・受講方法

受講のお申し込みは、本学 Webサイトの参加申込フォームまたはFAXとし、定員になり次第締め切らせていただきます。なお、電話でのお申し込みは受け付けておりません。

WEB申込

①本学Webサイトの
申込フォームからお申込み
ください。



<https://www.jcsw.ac.jp/senmonshoku/recurrent/list/>

②振込案内、申込内容
がメールで自動返信さ
れます。(メールが届かない
場合はご連絡ください。)

※本学通信教育科在学生の方及び
同窓会からの申し込みは、別に
指定された方法で申込み下さい。



③受講料を金融機関よりお振込みください。

※振込手数料は受講者様負担とさせていただきます。予めご了承ください。

【銀行】三井住友銀行 清瀬支店

【店番号】849【口座番号】普通 4474811

【名義】学校法人 日本社会事業大学

(ガッコウホウジン ニホンシャカイジギョウダイガク)



④ご入金を確認できましたら、遅くとも受講日の前
日までにはお申込み時にご登録いただいたメールア
ドレス宛に授業案内のメールをお送りいたします。
**大学院教務課(inkyomu@jcsw.ac.jp)からのメール
を受信できるようにしておいてください。**



⑤当日は、振込を証明できるもの(振込明細書等)を
ご用意の上、お申込みの参加形態で受講してください。

リカレント講座受講申込票

FAX: 042-496-3101

※R4は対面講座のみ、R5～R10はオンライン講座のみとなります。

に✓してください。
個人申込 法人・会社申込 (名参加)

申込みが複数の法人等の方は、 全員の参加者の 名前を記入してください。	ふりがな		申込 講座番号	希望する受講形態に○ (R1～R3をお申込みの場合のみ)
	氏名			対面・オンライン
	ふりがな		申込 講座番号	希望する受講形態に○ (R1～R3をお申込みの場合のみ)
	氏名			対面・オンライン
	ふりがな		申込 講座番号	希望する受講形態に○ (R1～R3をお申込みの場合のみ)
	氏名			対面・オンライン
ふりがな		申込 講座番号	希望する受講形態に○ (R1～R3をお申込みの場合のみ)	
氏名			対面・オンライン	

勤務先名		職種	
	自宅・勤務先 (どちらかに○)		
ご送付先	〒		
	TEL: FAX:		
	E-mail:		※メールアドレスは必ず 記載してください。

【受講形態変更時の意向】※R1～R3を申し込んだ方のみ
受講形態が変更しても受講したい
対面受講を希望している講座がオンライン受講のみになった場合、受講を取り消したい
【アンケートにご協力ください】
 ①本学との関係
一般 専門職大学院指定法人
本学卒業生(口学部 研究大学院 専門職大学院 通信教育科)
 ②お持ちの資格について
社会福祉士 介護福祉士 精神保健福祉士 介護支援専門員 公認心理師
臨床心理士 教員 保育士 看護師 保健師
その他 ()
 ③当講座をお知りになったきっかけ
本学ホームページ 新聞 雑誌 パンフレット(口本学からの郵便 校内
での配布 教員からの配布) その他 ()

(切り取り線)

個人情報の取り扱いについて

日本社会事業大学専門職大学院リカレント講座では、収集した個人情報を申込受付、パンフレットまたは本学が開催する同様のイベント案内の送付、講座運営及びこれに関する連絡等のために利用させていただく場合があります。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用がないよう、必要かつ適切な管理を行います。